

政策アドバイザーに齋藤精一氏

町は施策推進にあたって専門的な立場から指導・助言を得るため、令和3年度に政策アドバイザー制度を設置。4月1日からは、ソーシャルデザインから建築、まちづくりまで手がけるパノラマティクス主宰/(株)アブストラクトエンジン代表取締役で大阪・関西万博の共創プログラムディレクターも務める齋藤氏が4人目となるアドバイザーに就任しました。齋藤氏は令和2年から吉野山などで毎年行われている芸術祭「MIND TRAIL(マインドトレイル)」のプロデューサーとしても吉野町と深いかかわりがあります。今後、公民連携に関することや木材関連産業、地域デザイン、大阪・関西万博に関連した誘客等についての助言を基に町の課題解決に向け、事業を進めます。

▶就任式での中井町長(左)と齋藤氏(6月8日吉野町役場)



上平喜英氏 瑞宝双光章 受章



上平 喜英 氏

長年にわたり、学校教育・教育行政に携わり、多大な功績をあげられたことから、上平喜英氏(上市・75歳)に瑞宝双光章が贈られました。上平氏は、民間企業や吉野町職員としての経験を経て、昭和53年4月に川上村で小学校教諭として奉職。その後、国栖小学校教頭、県教育委員会事務局生涯学習課課長補佐、国栖小学校長、吉野小学校長、吉野中学校長を歴任されました(～平成19年3月)。平成22年4月には吉野町教育委員会教育長に就任(～平成28年4月)。ふるさと教育や幼保一元化などの多くの取り組みが現在の吉野町の教育の柱となりました。上平氏は、「この度の受章は、学校教育・教育行政に共に取り組んできた教職員の方々、教育委員会事務局職員の方々、また、ご支援をいただいた多くの地域の方々のおかげと心から感謝しています。吉野町の教育のさらなる発展を願っております。」と語られました。

◀◀ まちの話題



Sustainable Communities

吉野の未来のために

西谷で「集落営農団体」発足

5月31日 設立総会

西谷地区において、吉野町で2例目となる集落営農団体が設立されました。「集落営農」とは、吉野町が進める「農地保全活動推進事業」の一つで、増え続ける耕作放棄地と農地の荒廃に歯止めをかけ、効率的で安定した農業生産を集落全体で取り組むものです。

3月から設立準備会議を5回設け、組織で行う事業計画などが話し合われ、団体名は「西谷ファームチーム」と名付けられました。5月31日には西谷農事集会所で設立総会が開かれ、集落営農に賛同する地元生産者や西谷自治会



◀◀西谷地区集落営農団体
設立総会の様子



長、町暮らし環境整備課農林振興室の担当者が出席しました。設立総会では団体規約や事業計画、予算などについての説明が行われ、承認されました。

西谷ファームチームの事業内容

- ◆地区内農地の利活用地の調査
- ◆農作業機械の保管施設購入
- ◆農作業機械等の購入
- ◆農産物の販売(ふるさと納税返礼品等)など
- ◆農作業の受託生産活動



NATIONAL TREASURE

次世代へ継承

金峯山寺仁王門 解体進む

解体完了後、地下遺構の発掘調査へ



地層部分には大きな穴が開いていることがわかった。



2階部分は解体され、下層(1階部分)の解体が進んでいる。

吉野山金峯山寺の国宝・仁王門は、建物を全て解体し、礎石を掘り起こして据え直し、再度組み立てる全面的な改修が行われています。令和4年5月から着手した本格的な解体に際して、技法調査、改変調査が行われ、今後、礎石の沈下などの原因調査や地下遺構の発掘調査も実施されます。調査を基に地下の補強についての方針が立てられ、令和7年度以降に建物が復旧される予定です。平成30年の調査工事から始まった、約70年ぶりの解体修理は、令和10年度の末に完了する予定です。



TOWN OF WOOD

木のまち よしの

吉野貯木場に新たな看板設置

5月13日 関係者が集まり除幕式



吉野林業を発展させる一大プロジェクトとして、昭和14年に吉野貯木場が開設されて、80年余り。上市の旧吉野木材協同組合連合会事務所横に吉野杉で作られた看板が設置されました。これは、吉野貯木ならではの魅力を伝え、認知度を高めることなどを目的に、吉野製材工業協同組合が町の令和4年度貯木活性化補助金を活用し、吉野町在住のデザイナー・富松暖氏の設計により製作されたものです。書体は、木箱などに印字する際に使用されていた「刷り版」の文字を基にしたもので、貯木場の歴史が感じられる

雰囲気醸し出しています。看板は同じデザインのものが吉野大橋南詰の橋屋交差点近くにも設置され、製材所などが立ち並ぶ吉野貯木エリアのシンボルとなっています。近年、木材需要が伸び悩み、吉野の木材産業も低迷している状況にある中で、自然と社会を繋いできた吉野貯木の強みを再認識し、新たな価値の創造に向かうこれからの一歩にしたいという地元の人々の思いのつまった看板。今後、吉野製材工業協同組合は、同組合焼却場跡地を活用し、モニュメントも製作する予定です。

令和5年度 区長・町内会長・自治会長

地域の振興発展のため、いろいろとお仕事をしてくださる各地区の総区長・区長・町内会長・自治会長は、次の方々です。

◆ 上市地区

尾仁山	辻隆司
東口住宅自治会	大嶋良治
六軒町	島秀次
本町	森滋昭
横町	松本滋夫
上ノ町	飯田隆彦
轟野	※北岡信夫
立野	杉本好庸

◆ 吉野地区

吉野山自治会	山本春洋
左曾自治会	米田哲治
六田自治会	中谷正史
橋屋自治会	坂井佐久次
丹治総区	山本祥富
第1区	玉井榮一
第2区	山本祥富
第3区	田尾一志
飯貝	※皆地良祐

◆ 中荘地区

榑井自治会	西浦正明
御園自治会	榑本典雄
喜佐谷自治会	松岡幸弘
宮滝自治会	上田秀幸
菜摘区自治会	※鍵澤弘孝
榑尾自治会	榑西祥友
矢治自治会	岡本義影

◆ 国栖地区

南大野	今西宗男
窪垣内自治会	小松利充
新子	小泉喜弘
国栖自治会	※内仲勝弘
南国栖自治会	木村茂
入野自治会	前中哲也

◆ 中竜門地区

色生自治会	※辻秀昭
三茶屋自治会	峯垣昭夫
小名区自治会	峯山健一
殿川自治会	竹内一
柳区自治会	中上睦男
上柳	坂本朱美
中央	辻善昭
中村	岡本正秀
別所	藤本武司
田尻	辻辰巳良史
香束自治会	辻良史

◆ 龍門地区

山口自治会	森中浩
平尾自治会	南健吾
佐々羅東	坂西保夫
佐々羅西	菊谷久美
西谷自治会	表谷充康
三津自治会	西本文昭
滝畑	小南修二
千股自治会	上林嘉博
志賀自治会	井上馨
峰寺	徳谷孝義
河原屋自治会	※福田富夫

(※は各地区区長会長)

理事						監事	会計	副会長	会長	吉野町区長連合会 役員	令和5年度								
龍門地区	中竜門地区	国栖地区	中荘地区	吉野地区								上市地区							
菊谷久美	福田富夫	辻良史	辻秀昭	小泉喜弘	内仲勝弘	榑本典雄	鍵澤祥友	山本祥富	中谷正史	山本春洋	皆地良祐	杉本好庸	北岡信夫	皆地良祐	鍵澤祥友	辻秀昭	内仲勝弘	北岡信夫	福田富夫

— 敬称略 —

野木康司議長

奈良県町村議会議長会 副会長に就任
吉野郡町村議会議長会 会長に再任

令和5年5月18日に開かれた吉野郡町村議会議長会総会において、同会(野迫川村及び十津川村を除く郡内9町村議会議長による組織)の会長に、同月25日に開かれた奈良県町村議会議長会役員会において同会の副会長に野木康司議長が再任・就任されました。



西澤巧平議員

奈良県町村議会議長会 参与に再任

令和5年5月25日に開かれた奈良県町村議会議長会役員会において、西澤巧平議員が同会(県内27全町村議会議長による組織)の参与に再任されました。

